

「作品から、その子が分かるね。」

八月十日から、セブンイレブン北山町店で、七小の児童の作品を展示させていただいています。先週から三年二組の児童の作品を展示しています。内容は引き続き「あつたらいいな こんなドリンク」です。先日ちょうど店員さんが作品を眺めていて、感想を聞くことができました。「作品から、その子がどんな子か分かるね。」という感想をいただきました。作品を楽しみながら、子供の内面まで想像していただけてうれしかったです。皆様もぜひご覧ください。



「はみ出す力展2」 美術図工の授業の展覧会

九月十三日(日)～二十日(日)まで、埼玉県のうらわ美術館で「美術図工の授業の展覧会『はみ出す力展2』」を開催します。七小からは、三年生が取り組んだ「六月のわたしの絵」を出展します。幼稚園、保育園から大学までの、美術教育のあり方を考える展覧会です。ご興味のある方は、ぜひご覧ください。浦和駅から徒歩九分です。十時～十七時(受付は十六時半まで) 九月十四日(月)は休館日です。



四年生

「幸せをよぶ鈴(立ち上げねんど)」では、焼き物の粘土を使って土鈴どれいをつくりました。幸せをよぶ形はなんだろうと、それぞれ想像してつくりました。天使やまねきねこなどが多かったです。カメは縁起がいいからというので、カメをつくる子もいました。初めての焼き物めての焼き物粘土で大切なのは、柔らかい粘土をどうやって立ち上げらせるかと、部



品同士をしっかりとくっつけることです。焼きあがるまでどうなるか分からないのが、焼き物ですが、よくできていると思います。無事に焼けるように祈りながら窯入れをします。

五年生

「糸のこスイスイ」で電動糸のこぎりの練習をしました。電動糸のこぎりは、自動で切れるだけでなく、曲線が切れる便利な道具です。初めてなので、段ボールで練習しました。両手でしっかりと段ボールを押さえ、前に向かってずらしながら切ります。やわらかいので、逆走してしまっても切れますが、なかなか前に進んで切るといふ感覚がつかみきれない子もいました。次はベニヤ板に挑戦します。



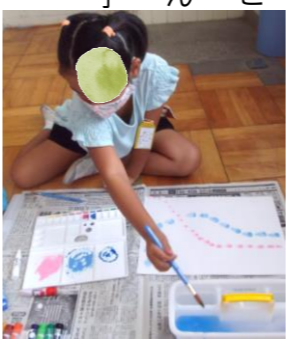
まだまだ暑い中で授業

一年生

初めて絵具セットを使いながら、密を避けるために視聴覚室で広々と使いました。動物になり切って自分の好きな色で画用紙の上を散歩するように、点々を描きました。描いているうちに、自分で色を混ぜて気に入った色をつくったり、色の組み合わせを考えたりなど、自然と工夫ができました。何より初めてのこ



とを楽しんでいる様子でした。



三年生

紙版画の表し方を使って「分身するみない鳥」を表現しました。自分で版画を摺った後、染料で周りに色や模様を描いて、仕上げました。「版画は摺る時、強く押さえないとすくなる。」や「染料は乾いてもうすい色のまま」などよい気づきがありました。



「カラフルフレンド」では、ビニール袋とお花紙を使って飼いたい動物をつくりました。関節や部分によって色が変わることを意識しながらつくっている子もいて、感心しました。一緒に寝ると言って満足気に持ち帰る子もいました。



六年生一組

今回は一組の「水の流れの様子」の様子です。一組は、滝やスライダーのような形をつくる子が多かったですが、それぞれに違いが見られました。細く長い子もいれば、急降下するような絶壁を流れる水を表現する子もいました。使うガラスの色も、自分なりの意味をもつて決めていました。

図工とは少し話がそれてしまいますが、この日は終業式の日で、あまりの暑さに子供たちが疲れているのを感じました。やはり八月上旬は、暑すぎると感じました。子供たちは、本当に頑張っていたと思います。早く過ごしやすい気温になってほしいです。

府中市美術館 アートプログラム

①「トントントント」自然をつかって染めてみよう！「草花をたたいて染める」「たたき染め」の技法を使って布を染めるワークショップの動画が、府中市美術館のアーティストのページのページで公開されています。

②「美術館の楽しみ方」九月二十六日(土) 十四時～十六時オンライン開催(ZOOMアプリ)申し込み締め切りは九月十八日(金)名前・年齢・居住地・連絡先を

bijyutu02@city.fuchuu.tokyo.jp #67